

み ず さ き に ん

大きな船の  
安全を守る  
港の案内役

# 水先人

大きな船が港へ安全に出入りするために欠かせない仕事があるよ。

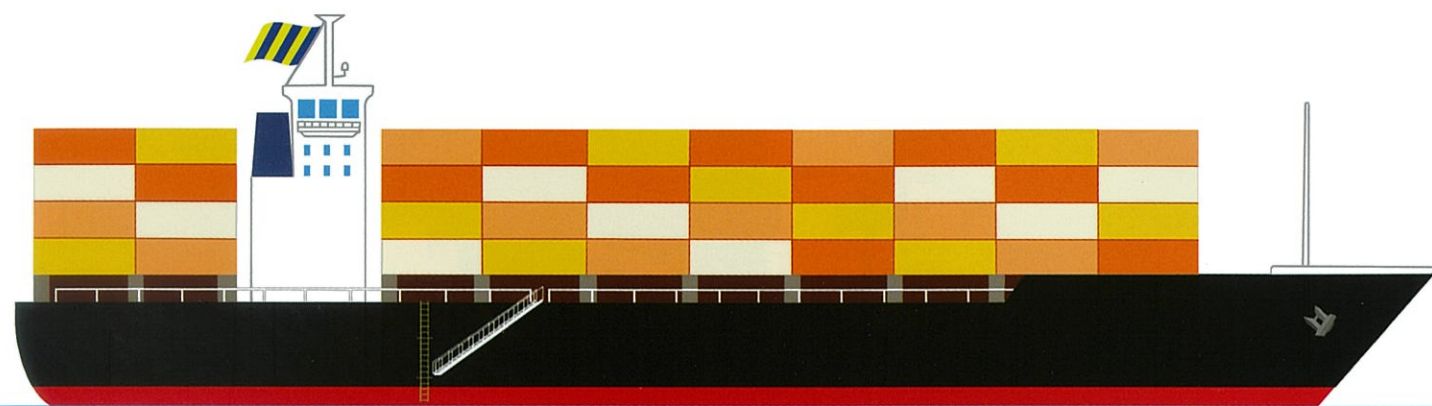
「水先人」と言って、海のパイロットとも呼ばれているんだ。



PILOT

# 「水先人」は、 港や船の専門家。

「水先人」は、大きな船が日本の港へ安全に出入りできるように、船を指揮する船長さんにアドバイスをする人だよ。  
船長さんたちは「水先人」をととても頼りにしているよ。



## なぜ、「水先人」が必要なの？

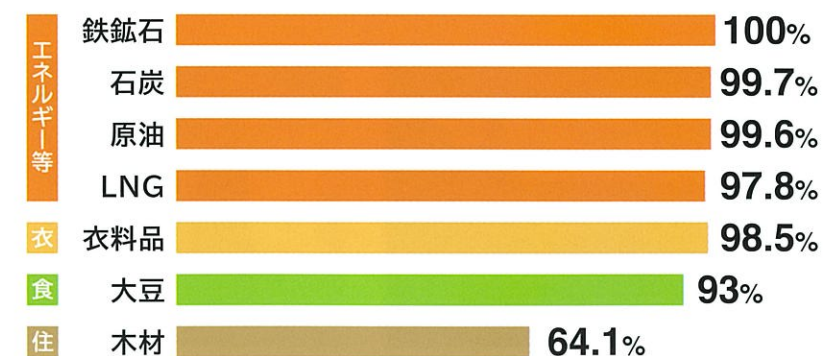
日本の主な港は、大小たくさんの船ですごく混雑しているんだ。しかも港は、ひとつひとつ形が違う。波や風、潮の流れも時間とともに変化してゆく。陸のようにはっきり見える道が無い海の上を、時には全長300メートルにおよぶ大きな船が、ほかの船を避けながら走ることはとても難しいよ。大きな船はクルッと向きを変えられないし、クルマのように急ブレーキをかけることもできないんだ。海のルールや港のようすに詳しく、先を読んで船を安全に導いてくれる「水先人」がいないと、思わぬ事故や問題につながることもあるんだよ。

## なぜ、日本の港は混雑するの？

日本は、食べ物や衣類、エネルギーなど、暮らしに必要な原料のほとんどすべてを外国から輸入しているんだ。船はそうした貿易品の99%以上を運んでいるから、日本の主な港はいつも、荷物を載せた大きな船がたくさん出入りしているよ。その数、年間でなんと約10万隻！しかも港は、国内を行き来する旅客船や小さな漁船なども利用しているから、すごく混雑して走りにくいんだ。でも、日本にとって大切な荷物を載せた船が、それが原因で事故を起こしたり、港を予定どおり出入りできなかったりしたら…とても困ったことになってしまうよ。

私たちの暮らしに欠かせない荷物を載せて運ぶ、大きな船。  
その安全を守る「水先人」は、私たちの暮らしを守る  
大切な仕事でもあるんだよ！

### ● 主な資源の輸入の割合



©SHIPPING NOW 2023-2024他

### ● 貿易品を運ぶ船の割合



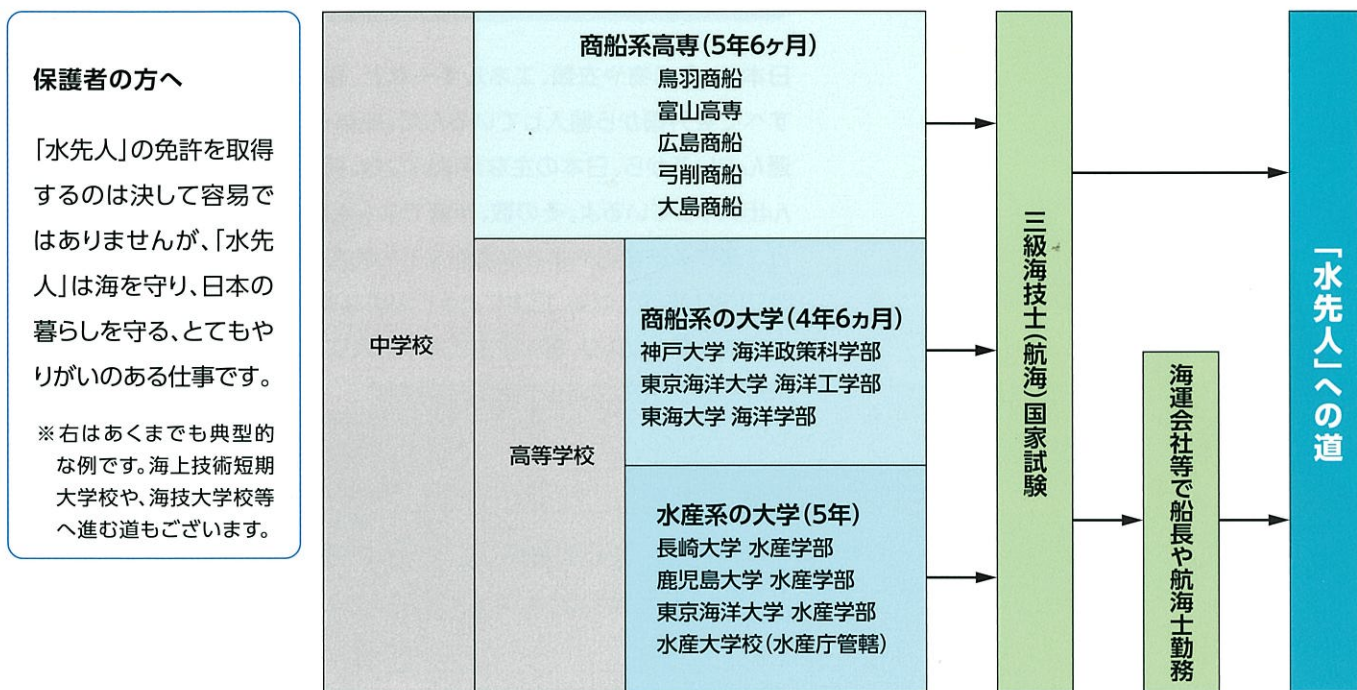
©SHIPPING NOW 2023-2024



## 「水先人」って私たちでもなれる?

「水先人」の多くは、船長や一等航海士などを経験した人たちですが、海や船に関係のない大学を卒業した後でも「水先人」になることができます。

いずれの場合も専門の学校で学びながら国家試験に合格し、「水先人」の免許を取る必要があります。外国船に乗り込むことが多いので、英語の勉強も大切です。



一般財団法人 海技振興センター

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 海事センタービル5階  
 TEL.03-3264-3871 FAX.03-3264-3808  
<https://mhrij.or.jp/>



日本水先人会連合会

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 海事センタービル6階  
 TEL.03-3262-7511 FAX.03-3262-9139  
<https://www.pilot.or.jp>

